

1-1 正の数・負の数

① 次の数を書きなさい。

(1) 0より3おおきい数 (2) 0より $\frac{1}{4}$ 小さい数

② 次の□の中から①～⑤にあてはまる数を選びなさい。

□ $-3.5, +10, 0, -\frac{3}{5}, 7, +8.3, -9, \frac{1}{3}$

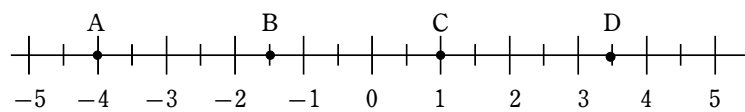
①負の数 ②正の数 ③整数 ④負の整数 ⑤自然数

③ □にあてはまる数を書きなさい。

(1) 300円の収入を+300円と表すとき、500円の支出は□円と表される。

(2) ある数学のテストで、80点を基準にして、85点を+5と表すとき、70点は□点と表される。

④ 下の数直線で、点A～Dに対応する数を書きなさい。



⑤ 次の問いに答えなさい。

(1) 次の数の絶対値を書きなさい。

① -6 ② 2.5 ③ $+\frac{1}{4}$

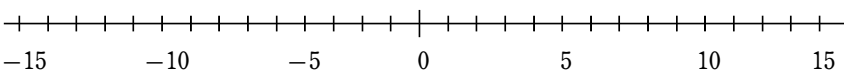
(2) 絶対値が5になる数をすべて書きなさい。

(3) 絶対値が3より小さい整数をすべて書きなさい。

(4) 絶対値が2以下の整数は何個あるか。

1-2 正の数・負の数の加法、減法の基本

① 数直線を使って、次の計算をしなさい。



(1) $7+3$ (2) $(-10)+5$ (3) $5-7$ (4) $(-2)-8$

② 次の計算をしなさい。

(1) $(-3)+(+7)$ (2) $(+2)-(+6)$

③ 次の計算をしなさい。

(1) $(-3)+(-9)$ (2) $(+5)-(-3)$

④ 次の計算をしなさい。

(1) $3+(+5)$ (2) $3-(+5)$ (3) $3+(-5)$ (4) $3-(-5)$

1-3 正負の加法、減法

① 次の計算をしなさい。

(1) $(-7)+(-2)$ (2) $(-6)-(-3)$

② $(-2)+(+3)$ (3) $(+2)-(-2)$ (4) $(-3)+(-1)$ (5) $(+1)-(+2)$

(6) $(-1.2)-(+3.6)$ (7) $(+\frac{2}{3})+(-\frac{1}{2})$

② 次の計算をしなさい。

(1) $3-2-6+4$ (2) $0.2-0.9+1.5$ (3) $\frac{1}{2}-\frac{5}{6}+\frac{1}{4}$

③ 次の計算をしなさい。

(1) $(-2)+(+3)+(-5)-(-1)$ (2) $(-0.3)+2-(+1.7)$

(3) $(+\frac{7}{12})-\frac{1}{4}+(-\frac{2}{3})$

④ 下の表は、A、B、C、Dの4人の身長が、170cmより何cm高いかを示したものである。このとき次の問いに答えなさい。

人	A	B	C	D
170cmとの違い(cm)	+6	0	-1	-3

(1) A君の身長は何cmか。

(2) C君はD君よりも何cm高いか。

(3) 身長之最も高い人と、最も低い人ととの身長差は何cmか。

1-4 正負の数の乗法

① 次の計算をしなさい。

(1) $(-3)\times(-5)$ (2) $3\times(-7)$ (3) $(-\frac{4}{5})\times\frac{3}{8}$

② 次の計算をしなさい。

(1) $(-2)\times 3\times(-5)$ (2) $\frac{1}{4}\times(-\frac{2}{3})\times\frac{9}{2}$

③ 次の問いに答えなさい。

(1) 次の数を、累乗の指数を使って表しなさい。

① $2\times 2\times 2$ ② $(-4)\times(-4)$ ③ $3\times 3\times(-7)\times(-7)\times(-7)$

(2) 次の計算をしなさい。

① $(-2)^3$ ② -2^2 ③ $(-3^2)\times(-3)^2$

④ ミスをさがしなさい。

① $-4^2=-8$ ② $(-4)^2=-16$ ③ $(-3)^3=-27$

④ $2^3=6$ ⑤ $(-2)^4=16$ ⑥ $-2^4=16$

1-5 正負の数の乗法、除法

① 次の計算をしなさい。

(1) $(-30)\div(-5)$ (2) $(-18)\div 6$ (3) $21\div(-3)$

② 次の逆数を求めなさい。

(1) $\frac{3}{4}$ (2) -7 (3) 0.6

③ 次の計算をしなさい。

(1) $4\div(-\frac{2}{3})$ (2) $(-\frac{3}{4})\div(-5)$ (3) $(-\frac{3}{2})\div(-\frac{9}{10})$

④ 次の計算をしなさい。

(1) $6\div(-4)\times(-2)$ (2) $(-2)^3\times(-\frac{2}{5})\div(-4^2)$

1-6 正負の数の四則混合計算と利用

① 次の計算をしなさい。

(1) $3+(-2)\times 5$ (2) $6-13\div(-9-4)$ (3) $6-(4-4^2)\div(-2)^2$

(4) $3\times\{-2^3-(5-2)\}$ (5) $\frac{1}{2}+0.5\times 7$

② 分配法則を使って、次の計算をしなさい。

(1) $8\times(\frac{1}{4}-\frac{5}{2})$ (2) $34\times 6.1-24\times 6.1$ (3) $99\times(-12)$

③ a, bを自然数とすると、答えがいつでも自然数になるものを、下の①～④よりすべて選びなさい。

① $a+b$ ② $a-b$ ③ $a\times b$ ④ $a\div b$

④ 運動会の玉入れの練習を5回行った。1回目にかごに入った玉の個数は60個であった。下の表は、それぞれの回ごとに、1回目より何個多く入れたかを調べ、その個数を示したものである。この5回の、かごに入った玉の個数の平均値を求めよ。

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
個数	0	+5	-2	+4	+8